

令和6年度

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

令和8年3月
沖縄県 農林水産部

はじめに

本冊子は、平成27年に見直しを行い策定された「さとうきび増産計画」のもと、各島毎に増産に向けて取り組んだ対策及びその結果をとりまとめ、検証することで、次年度の増産対策、取り組み等へ反映させるために作成しております。

沖縄県におけるさとうきびは、厳しい気象条件下において、比較的安定した生産が可能であり、全耕地面積の約5割を占め、全農業経営体数の約6割が栽培するとともに、とりわけ離島地域においては、製糖を通して雇用機会を確保するなど、農家経済はもとより、地域経済を支える基幹作物となっています。

しかしながら、生産農家の高齢化の進行、担い手不足、都市化の進展、耕作放棄地の増加及び肥培管理等の遅れに加え、病虫害被害や台風・干ばつ等の気象災害の発生等、さとうきびを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このため、ほ場やかんがい施設、防風・防潮林等の生産基盤の整備をはじめ、耕作放棄地の再生利用、農地中間管理事業の活用による担い手への農地の利用集積の加速、機械化一貫作業体系の確立や適期肥培管理の徹底、病虫害防除の早期実施等により、さとうきびの品質及び生産性の向上を図る必要があります。

今後とも、「さとうきび増産計画」及び本冊子でとりまとめた課題、今後の取組方向等に基づき、生産者、製糖企業、JA、市町村等関係機関・団体が連携し、さとうきびの増産に向け取り組みを強化し、生産拡大が図られるよう期待しております。

令和8年3月

沖縄県農林水産部長 喜屋武 盛人

I 令和6年度さとうきび生産実績及び評価（概要）

I 令和6年度さとうきび生産実績及び評価（概要）

1 さとうきび生産実績

沖縄県さとうきび増産プロジェクト会議では、さとうきび生産目標の達成に向け、病虫害防除対策、台風・干ばつ対策、高性能農業機械の導入、担い手育成対策、遊休農地解消対策、農業共済等への加入促進、地力増進対策等について、生産者や市町村、JA、製糖工場、普及センター等の関係機関が一体となって取り組んだ。

令和6年産の生産実績は、

- ・収穫面積 13,484ha（前期 13,164ha）
- ・単収 6,267kg/10a（前期 5,046kg/10a）
- ・生産量 845,112トン（前期 664,284トン）

であった。

前期に比べて、収穫面積は320ha（2.4%）の増加、単収は1,221kg/10a（24.4%）の増加、生産量は180,828トン（27.2%）の増加となった。品質については、平均甘しや糖度13.8度（前期14.6度）であった。

[生育概況]

○ 沖縄地域

本島及び周辺地域において、生育初期は多雨傾向であり生育が概ね順調に推移したが、梅雨明け以降の7～8月は少雨傾向となった。その後9月以降の生育後期は降水量が多く、生育が順調に推移したが、一方で日照時間は平年を下回り、生育や収量に影響を及ぼした。台風による被害は特に見られなかった。

大東地域においては年間を通して少雨傾向であったが、生育旺盛期には降雨も見られ、台風の被害も特に見られなかったことから生育は順調に推移した。

○ 宮古地域

生育初期の4～6月の降水量は平年値を大きく上回ったが、7月は少雨傾向にあったが、台風3号の接近による降雨により、干ばつが回避され、被害も軽微であった。その後も生育後期も適度な降雨があり、気温も平年値より高い状況であり、生育は順調に推移した。

○ 八重山地域

生育初期は少雨傾向であったが、4～5月に降水量が平年値を上回った。梅雨明け以降は干ばつ状況であり、春植や株出の作型において生育への影響が見られたが、台風3号の接近により降雨による生育回復が見られた。台風の被害も葉片裂傷のみであった。その後も平年並みの降雨があり、10月の台風21号の接近もあったが、被害も軽微であったため、生育が順調に回復した。

【さとうきび生産実績と増産プロジェクト計画(増産計画)】

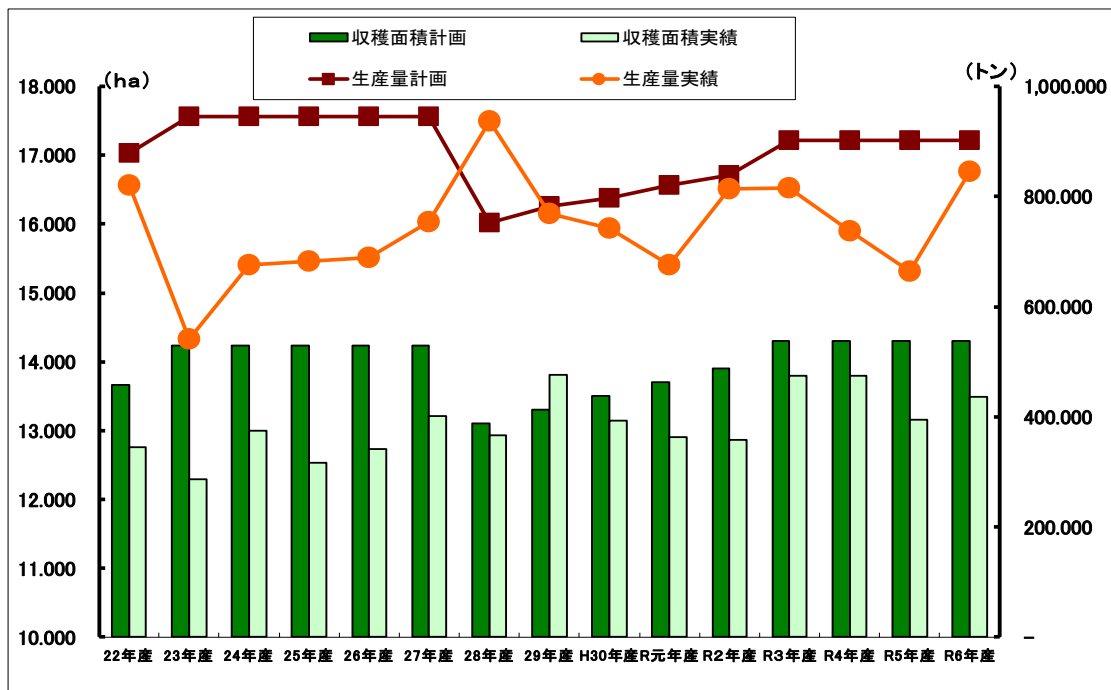
年 産	収穫面積(ha)	単収(kg/10a)	生産量(t)
平成 18 年産実績 (目標値/達成率)	12,675 (13,330/95.1%)	5,848 (6,155/95.0%)	741,284 (820,460/90.3%)
平成 26 年産実績 (目標値/達成率)	12,736 (14,235/89.5%)	5,406 (6,642/81.4%)	688,504 (945,500/72.8%)
平成 27 年度実績 (目標値/達成率)	13,212 (14,235/89.5%)	5,712 (6,642/86.0%)	754,671 (945,500/79.8%)
平成 28 年産実績 (目標値/達成率)	12,938 (13,100/98.8%)	7,246 (5,800/124.9%)	937,523 (752,000/124.7%)
平成 29 年産実績 (目標値/達成率)	13,809 (13,300/103.8%)	5,567 (5,900/94.4%)	768,675 (782,000/98.3%)
平成 30 年産実績 (目標値/達成率)	13,145 (13,500/97.4%)	5,649 (5,900/95.7%)	742,584 (797,000/93.2%)
令和元年産実績 (目標値/達成率)	12,901 (13,700/94.2%)	5,239 (6,000/87.3%)	675,827 (821,000/82.3%)
令和 2 年産実績 (目標値/達成率)	12,871 (13,900/92.6%)	6,323 (6,000/105.4%)	813,853 (902,000/90.2%)
令和 3 年産実績 (目標値/達成率)	13,791 (14,300/96.4%)	5,913 (6,300/93.9%)	815,426 (902,000/90.4%)
令和 4 年産実績 (目標値/達成率)	13,679 (14,300/95.7%)	5,391 (6,300/85.6%)	737,439 (902,000/81.8%)
令和 5 年産実績 (目標値/達成率)	13,164 (14,300/92.1%)	5,046 (6,300/80.1%)	664,284 (902,000/73.6%)
令和 6 年産実績 (目標値/達成率)	13,484 (14,300/94.3%)	6,267 (6,300/99.5%)	845,112 (902,000/93.7%)

注1) 平成 18 年～平成 27 年までの目標値は「さとうきび増産プロジェクト計画」値

注2) 平成 28 年以降目標値は「さとうきび増産計画」値

注3) 令和 3 年産以降の目標値は令和 7 年度最終目標値

【増プロ計画における生産量と収穫面積の推移】



2 令和6年度さとうきび増産に向けた主な取組

(1) 経営基盤の強化

①経営安定対策（交付金）の対象生産者数

令和6年産については、10,717件の申請がなされている。近年は機械収穫が進展し、令和6年度については全収穫面積のうち90.1%が機械収穫となっている。今後も農業法人等の育成を支援し、機械導入を進める事などにより、生産農家が漏れなく対象となるよう支援していく。

【甘味資源作物生産者要件審査申請書審査結果】(対象生産者数)

	A-1	A-2	A-3	A-4	合計
平成30年産	96	1,426	5,529	5,539	12,590
令和6年産	76	0	5,369	5,272	10,717

注)令和6年産は確定値(要確認)

②認定農業者の育成

他部門との複合経営農家や後継者との共同経営が見込める農家を中心に認定農業者へ誘導している。

【認定農業者の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
認定農業者(人)	461	440	467	415	409	414	370	314	276	249
対前年度増減	83	-21	27	-52	-6	5	-44	-56	-38	-27

③農業法人等受託組織の育成

農業法人等を中心とした地域の実態に即した機械化体系に相応しい受託組織の育成を推進している。

【農業法人の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
農業法人(経営体)	128	150	170	177	189	211	221	232	240	248
対前年度増減	24	22	20	7	12	22	10	11	8	8

④共済加入の促進

農家個々の被害の実態に応じた共済掛金率の設定や、各地区での説明会の開催等を通して、共済加入を促進している。

併せて、収入保険制度についても、周知を図るとともに加入促進に努めている。

【面積引受率の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	(28年産)	(29年産)	(30年産)	(31年産)	(2年産)	(3年産)	(4年産)	(5年産)	(6年産)	(7年産)
面積引受率(%)	49.8	51.2	48.4	43.6	41.4	36.7	33.9	32.8	32.7	33.8
対前年度増減	1.1	1.4	-2.8	-4.8	-2.2	-4.7	-2.8	-1.1	-0.1	1.1

注) R6年産及びR7年産の数値についてはR7.3時点の概算値

(2) 生産基盤の強化

①土地改良

農業生産基盤の整備は、さとうきびの生産性及び品質向上や、農業機械の効率的な稼働を図る上で重要である。特に、干ばつの影響を受けやすい地域においては、かんがい施設の導入・利用を推進している。

【農業農村整備事業(土地基盤整備)の実績】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)
ほ場整備率(%)	61.1	61.7	62.3	62.9	63.3	63.8	64.3	68.4	68.6	69.0
水源整備率(%)	59.8	62.1	62.4	62.5	62.6	62.6	62.8	65.5	65.5	65.5
畑地かんがい整備率(%)	47.7	48.2	48.8	49.1	49.8	50.4	51.0	53.5	53.7	53.9

②さとうきび機械化一貫体系による農作業の合理化促進

生産農家の高齢化や収穫作業の省力化に対応するとともに、適期管理の実施により単収向上を図るため、地域の実態に応じたハーベスタ等の高性能農業機械を計画的に導入整備し、機械化一貫体系の確立、農作業の合理化を促進している。

○ 令和6年度導入実績：17地区

- ・宮古島市等におけるハーベスタなどの収穫機械の整備：4地区
- ・南大東村等におけるトラクタなどの栽培管理作業機等の整備：13地区

【機械収穫率[面積]の比較】

	収穫面積	機械収穫面積	機械収穫率	ハーベスタ収穫率
平成17/18年期	12,485ha	4,392ha	35.2%	33.8%
令和6/7年期	13,484ha	12,150ha	90.1%	88.4%

注) 機械収穫：ハーベスタ、刈取機、脱葉機を含む

③「防風林の日」関連行事の開催

安定したさとうきび生産を行うためには、台風等の被害を軽減するための防風・防潮林の整備が不可欠であることから、全県的な取組として毎年11月の第4木曜日を「防風林の日」に定め、防風林の重要性についてPRするとともに、防災農業の確立に向けて、生産者をはじめ関係機関が一体となって取り組んでいる。

- 啓発広報：ポスター配布、パネル展、等
- 植樹大会開催：令和6年11月19日、与那国町

(参加者による植樹の様子)



(3) 技術対策

①気象災害対策

南北大東を中心に本島内でも点滴チューブによる灌水が行われており、安定生産の一助となっている。一方で、かん水資材等の設置や撤去の労力を要するため、機械を用いた点滴チューブの巻き取りなど、労力低減に向けた取組が行われている。

②病虫害対策

病虫害対策として、発生予察情報に基づいた適期防除を推進するとともに、さとうきび増産基金等を活用した薬剤購入や防除作業委託の助成等、各種対策を実施した。

○ イネヨトウの交信かく乱法による防除

一部地域で発生がみられるイネヨトウの防除の取り組みとして、各地区で対策会議の開催、また、伊平屋村では事業を活用した交信かく乱法による防除を実施した。

〈交信かく乱法の実施〉

- ・ 沖縄振興特別推進交付金事業〔伊平屋村〕

○ アオドウガネの一斉防除

平成 19 年度から宮古地域において、誘殺灯を活用したアオドウガネの一斉防除を実施している。

- ・ 令和 6 年度可動式誘殺灯設置数：1,800 基（固定式は無し）

【アオドウガネ捕殺数の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
捕殺数(万頭)	317	191	189	307	656	971	1224.4	1,634	1,302	1,322
対前年度比(%)	169.5	60.3	99.0	162.4	213.7	148.0	126.1	133.4	97.7	1.0

○ 土壌害虫の防除効果等による株出栽培面積の増加

【宮古島市における株出面積の推移】

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
株出面積(ha)	2,037	2,627	3,308	3,037	2,874	2,739	3,158	3,703	3,576	3,751
対前年増減(ha)	279	590	681	-271	-163	-135	419	545	-127	175

③生産対策

増産に向けた生産対策として、各地域協議会においてさとうきび生産性向上緊急支援事業等（いわゆる生産対策）を活用し、肥培管理対策、地力増進対策、害虫防除対策等の取組みを実施。

令和5年度(補正予算2次)

さとうきび生産性向上緊急支援事業

事業実施主体	主な事業内容
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(土壌診断、深耕・心土破碎)、肥培管理対策
八重山地区さとうきび生産振興協議会	病虫害防除対策(農薬購入費等に係る助成)
宮古地区さとうきび糖業振興会	地力増進対策(心土破碎、緑肥のすき込みによる土壌物理性向上、土壌診断)、肥培管理対策(除草剤購入費の助成)
伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(適期植付(ビレットプランター委託)に係る費用の助成)
久米島さとうきび振興協議会	地力増進対策(堆肥、鶏ふん、土壌改良剤の購入に係る費用の助成)
多良間地区さとうきび生産組合	地力増進対策(有機質資材の投入)、病虫害防除対策(アオドウガネ誘殺灯の導入)
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
八重山地区さとうきび生産振興協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
宮古地区さとうきび糖業振興会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
北部地区さとうきび生産振興対策協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)
久米島さとうきび振興協議会	担い手・作業受託組織の育成・強化(補修・メンテナンス対策への助成)

令和6年度(当初)

甘未資源作物等支援事業(さとうきび産地確立実証事業)

事業実施主体	主な事業内容
沖縄県農業協同組合(北部)	管理作業オペレーター育成及び適期管理作業の意識向上
沖縄県農業協同組合(南部)	株出管理作業オペレーター育成及び適期肥培管理受委託体制の構築
南大東村さとうきび生産振興対策協議会	淡水化設備を活用したかん水体制構築

令和6年度(補正予算1次)

さとうきび生産性向上緊急支援事業

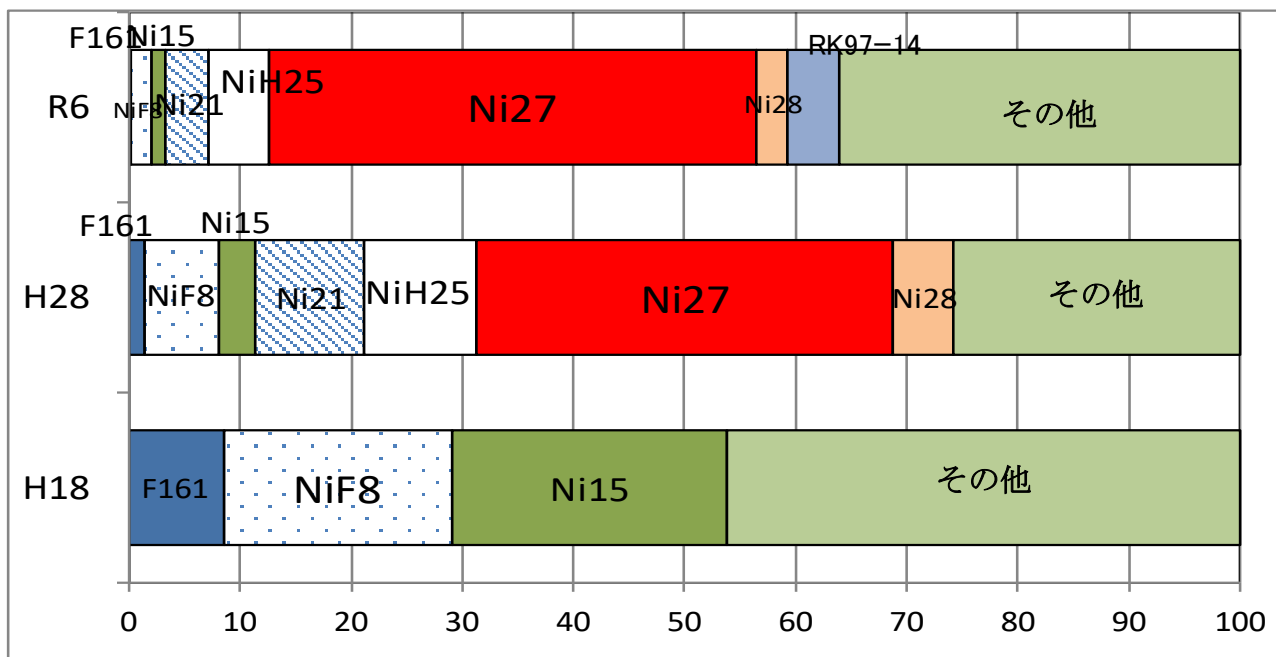
事業実施主体	主な事業内容
南大東村さとうきび生産振興対策協議会	病害虫防除対策(フェロモンチューブ散布)
北大東製糖株式会社	地力増進対策(牛ふん、緑肥、鶏ふんの購入助成)
南部地区さとうきび生産振興対策協議会	地力増進対策(土壌診断、深耕)に係る費用の助成
北部地区さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(化学肥料の購入助成)
中部地区さとうきび生産振興対策協議会	肥培管理対策(化学肥料の購入助成)、農作業受委託の推進
八重山地区さとうきび生産振興協議会	肥培管理対策(化学肥料、除草剤の購入助成)
宮古地区さとうきび糖業振興会	地力増進対策(心土破碎、土壌診断、緑肥)に係る費用の助成
久米島さとうきび振興協議会	地力増進対策(堆肥、鶏ふん、土壌改良剤)、肥培管理対策(除草剤)に係る費用の助成

④優良種苗の普及・促進

- さとうきび優良種苗の普及・促進のための種苗ほの設置 (種苗対策事業)
原苗ほ設置規模：春植 15.88ha(476,400本)、夏植 24.65ha(739,500本)

- 主要品種の推移 (県全域)

単位：%



⑤栽培技術の普及等

適期植付や面積拡大及び効果的な技術普及を図るための実演会や講習会等の開催、栽培技術の普及啓発に取り組んでいる。

○ 各地区における実演会や講習会等の開催実績

月	大会名または取組名	主な内容	場所
4	さとうきびの日北部地区講習会	雑草防除技術 新品種等	北部地区
	株出し管理実演会および栽培講習会	株出し管理、雑草・病害虫対策	南部地区
5	優良種苗の増殖普及	原種ほ設置	伊平屋村
6	夏植え懇談会	夏植え栽培技術に関する講演会	竹富町小浜
7	さとうきびの栽培講習会及び現地検討会	農家への栽培講習	栗国村
	栽培講習会	栽培技術に関する講習会	宮古島市
8	農薬・野ソ剤配布	さとうきび農家へ農薬・野ソ剤配布	伊江村
	さとうきび講習会	栽培技術講習	北部地区
	さとうきびスマート農業技術研修会	スマート農業技術研修会	伊是名村
	さとうきび品種及び栽培技術勉強会	さとうきび品種及び栽培技術勉強会	竹富町西表
	農業安全指導者育成研修会	農業安全指導者育成研修会	竹富町波照間
9	栽培講習会	株出し管理、優良種苗、黒穂病について	多良間村
	さとうきび栽培講習会	雑草防除を中心とした講習会	中部地区
10	土づくり講習会	さとうきび栽培における土づくり、施肥について	多良間村
	さとうきび栽培講習会	栽培技術に関する講演会等	伊平屋村
11	土壌分析講習会及び現地検討会	農家への栽培講習	栗国村
	牛糞堆肥利用の展示圃設置	植付け	中部地区
	バガスケーキ配布	バガスケーキ畑への還元	竹富町西表
12	刈取懇談会	株出・春植栽培技術に関する講演会	竹富町小浜
	ビレットプランタ植付実演会	スマート農業取組支援	南部地区
1	ハーベスタオペレータ研修	ハーベスタ刈取研修、農作業安全講習会	南部地区
2	さとうきび実演会・講習会	散布機実演 栽培講習	北部地区
	フェロモンチューブ設置	ハリガネムシ交信かく乱防除	南大東村
	ドローン農薬散布実演会	ドローンによる農薬散布実演会・現地検討会	南部地区
	株出管理講習会・中耕ローター実演会	管理講習会及び現地講習会	中部地区
3	株出管理実演会	株出管理講習会	南部地区

(4) ひとりきび増産基金の取組について

単位:円

自然災害被害対策事業(令和6年度計画・実績)

取組項目	令和6年度計画		令和6年度実績		令和6年度実績のうち国費	令和6年度実績のうち国費	令和6年度実績の構成比
	事業費	うち国費	事業費	うち国費			
病害虫発生時の個別対策							
(1)各種病害虫防除のための薬剤購入費等の助成	278,251,945	168,592,000	256,467,931	152,498,000		59.1%	
(2)各種病害虫防除のための作業委託料等の助成	9,900,000	6,000,000	9,889,000	5,993,000		2.3%	
干ばつ発生時の個別対策							
(1)干ばつ被害軽減のためかん水作業委託料等の助成							
(2)干ばつ被害軽減のためかん水資材購入費等の助成							
台風被害発生時の個別対策							
(1)台風後の植替え及び翌年度の新植に向けた種苗の確保に係る経費							
(2)除塩のためかん水作業委託料等の助成							
(3)早期生産回復及び次作への影響を減らすための対策							
低糖度時の個別対策							
(1)低糖度時の対策及び翌年度の栽培に向けた対策に対する助成							
共通対策							
(1)各種被害の早期回復及び次作への影響を減らすための対策							
・堆肥、緑肥、土壌改良資材施用及び土壌分析(土壌診断)等に係る経費	113,922,304	69,042,000	68,690,287	40,290,000		15.6%	
・株出等管理作業(深耕・心土破碎、施肥、粒剤散布、除草剤散布を含む)の実施に係る経費の助成	84,932,340	51,471,000	79,748,960	47,807,000		18.5%	
・苗の確保(種採ほ設置、代替苗やセル成形苗の育苗や購入等)に係る経費等の助成	17,560,125	10,642,000	17,549,404	10,612,000		4.1%	
・かん水作業委託料等の助成							
自然災害等による生産減少の恐れに対する個別対策							
(1)上記の各種対策を複合的に実施							
特認条項							
(1)上記以外の災害等により、一定の条件の場合で、特に対策が必要なものとして協議の上、特に認めるもの							
事務に関する経費(事業実施主体)	1,140,141	1,031,000	1,117,620	1,008,000		0.4%	
(合計)	505,706,855	306,778,000	433,463,202	258,208,000		100.0%	